

国語科学習指導案

I 単元 くらべて はっけん！どうぶつの 赤ちゃん（『どうぶつの 赤ちゃん』）

II 考察

1 教材観

(1) 育成を目指す資質・能力の三つの柱

①知識及び技能

程度を表す語句や文章の中にある情報同士の相違についての知識及び、それを文章を読む際に用いる技能

②思考力、判断力、表現力等

事柄の順序を考えたり、文章の中にある情報の相違点を比べたりしながら読む力

③学びに向かう力、人間性等

楽しんで文章を読み、読んで分かったことを友達と積極的に聞き合ったり、書いて伝え合ったりしようとする態度

(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

〔知識及び技能〕(1)

オ 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。

〔知識及び技能〕(2)

ア 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。

〔思考力、判断力、表現力等〕C 読むこと(1)

ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。

(3) 単元の価値

本単元では、説明的な文章『どうぶつの 赤ちゃん』（光村1年下）に書かれている、ライオンやしまうま等の赤ちゃんの生まれたときや成長の様子を比べて読み、他の動物の赤ちゃんについて、生まれたときの様子、成長の様子という順序で説明する文章を書く学習を行う。本単元で扱う教材及び言語活動の価値は以下のとおりである。

『どうぶつの 赤ちゃん』は、「生まれたばかりのときは、どんなようすをしているのでしょうか。」「どのようにして、大きくなっていくのでしょうか。」という二つの問いの文から始まり、ライオンの赤ちゃん、しまうまの赤ちゃんを事例に挙げて説明している文章である。

それぞれの動物の赤ちゃんの様子を説明する際、「ぐらい」という程度を表す副助詞が多用されている。そのため、子どもたちは程度を表す語句の意味理解を広げ、書かれている内容を理解する際に用いることができる。また、生まれたときや成長の様子が大きく異なる二種類の動物を取り上げているため、両者の相違点に気付くことができる。よって、程度を表す語句や文章の中にある情報同士の相違についての知識及び、それを文章を読む際に用いる技能を身に付けることにつながる。

本教材文は、まず、肉食動物であるライオンの赤ちゃんについて、「生まれたときの様子」、「成長の様子」の順序で書かれ、次に、対照的な草食動物であるしまうまの赤ちゃんについても同様の順序で書かれており、内容を比べやすい。そのため、事柄の順序を考えたり、文章の中にある情報の相違点を比べたりしながら読む力を高めることにつながる。

子どもたちにとって、動物園や図鑑等で目にしたことのある動物の生態を伝える文章は興味や関心をもちやすい。そのため、楽しんで文章を読み、読んで分かったことを友達と積極的に聞き合ったり、書いて伝え合ったりしようとする態度を養うことにつながる。

文章の書き方を読み取り、その書き方を用いて自分で同様の文章を書く活動は、1年「見つけた！かくれんぼめいじん」や「じどう車ずかんをつくろう」で子どもたちが繰り返し意欲的に取り組んできた言語活動である。そのため、子どもたちは、説明的文章を読む学習に意味を見いだしながら、学習の見通しをもって、この言語活動に取り組むことになる。このことは、子どもたちが解決する必要感をもって課題解決をすることにつながる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、2年「たんぼぼの ひみつを まとめよう（『たんぼぼの ちえ』）」における、時間的な順序を考え、たんぼぼの様子の変化とその理由を読み取る学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、1年「じどう車ずかんをつくろう」（『じどう車くらべ』）において、様々な車の「しごと」と「つくり」について読み、他の車について、「しごと」、「つくり」という順序で説明する文章を書く学習に取り組んできた。この学習の中で明らかになった子どもたちの実態及び本単元を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- ① 様々な自動車の働きやそのための仕組みを表す語句の量を増し、文章の中で使うことができるようになってきている。そのような子どもたちが、「ぐらい」という程度を表す語句の意味を理解できるよう、読み取った内容を友だちと十分に聞き合う時間を繰り返し設ける。
- ② 様々な自動車の「しごと」とそのための「しくみ」という順序を考えながら読んだり書いたりできるようになってきている。そのような子どもたちが、動物の赤ちゃんについて書かれた文章を「生まれたときの様子」、「成長の様子」という順序で読み取ったり、読み取った内容を比べたりできるよう、段落カードを並べて比べられる学習プリントを用意する。
- ③ 様々な自動車についての文章を楽しんで読んだり、読んで分かったことを進んで書いたりできるようになってきている。このような子どもたちが、動物の赤ちゃんについての文章を楽しんで読んだり、読んで分かったことを進んで書いて伝え合ったりできるよう、図鑑を書く際に用いる、様々な種類の動物についての図書資料を用意する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習

- 1 ねらい ライオンとしまうまの赤ちゃんの様子について、両者の違いに着目してもった感想を聞き合うことを通して、より詳しく文章の内容を理解することができる。
- 2 準備 段落カード 学習プリント
- 3 本時想定した躍動をする子どもの姿

学習課題「ライオンとしまうまの赤ちゃんを比べて読んで、他の動物の赤ちゃん図鑑を

書こう」の解決に向けて、ライオンとしましまの赤ちゃんの生まれたときや成長の様子を比べてもった感想を伝え、聞き合う活動を続けている。

4 展 開

| 学習活動と子どもの意識 | 指導上の留意点 |
|---|--|
| <p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早く「動物の赤ちゃん図鑑」を書きたいな。 ・でも、まだライオンとしましまの赤ちゃんの様子を比べて読んでないから、今日はそれをめあてにして、頑張りたいな。 | <p>①学習課題を解決することへの必要感を想起できるよう、「動物の赤ちゃん図鑑」のモデルを提示し、学習課題の解決状況を問いかける。</p> <p>○文章を比べて読む問題意識をもてるよう、学習課題を再提示し、本時の課題を問いかける。</p> |
| <p>めあて ライオンとしましまの赤ちゃんの様子を比べて、思ったことを聞き合おう。</p> | |
| <p>2 ライオンとしましまの赤ちゃんの様子の違いについてペアで感想を聞き合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このカードと、そのカードは大きさとか目や耳という言葉があって、同じことが書いてあるから、四角の中に並べて置いたらよいと思うけど、どうかな。 ・歩けるようになったら獲物を捕まえて食べられるから、これで合ってるよね。 ・ライオンの赤ちゃんは動物の王様なのに、生まれたときはしましまの赤ちゃんより体が小さくて、不思議だと思ふよ。 ・私は、しましまの赤ちゃんの方がすごいと思うな。なぜなら、ライオンの赤ちゃんと違って、生まれたときに体がもうやぎぐらい大きいからだよ。すごいよね。 ・他の友達はしましまより小さかったライオンの赤ちゃんが、大きくなると強くなるのがすごいと思ったのか。それもそうだね。 ・食べ物のことも考えてみようかな。しましまの赤ちゃんはライオンの赤ちゃんよりお乳を飲んでいるときが少ないから、やっぱりしましまの赤ちゃんはすごいよね。 <p>3 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライオンの赤ちゃんと比べて読んだら、しましまの赤ちゃんはすごいと思ったよ。 | <p>②赤ちゃんの「生まれたときの様子」と「成長の様子」について読み取ってきた内容が比べやすくなるよう、段落カードを内容ごとにペアで組み合わせ、学習プリントに並べるよう促す。</p> <p>○段落カードの組み合わせの正しさを確認できるよう、ペアで音読するよう促す。</p> <p>○赤ちゃんの様子の違いについて、感想を伝え合えるよう、対話のモデルとモデルの話型を提示する。</p> <p>○対話が停滞しているペアには、様子の違いを基に感想がもてるよう、比べたときにすごいと思う動物とその理由を問いかける。</p> <p>○互いの感想のよさを感じられるよう、教室全体で、ペアで聞き合ったことを発表するよう促す。</p> <p>○内容ごとに違いを捉えられるよう、感想を何度も伝え合っているペアを称賛する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">— 評価項目 —</p> <p style="text-align: center;">「生まれたときの様子」、「成長の様子」という順序で段落カードを並べ、様子の違いについての感想を発言している。</p> <p style="text-align: right;"><学習プリント・発言②></p> </div> <p>○文章を比べて読むことのよさを実感できるよう、本時学習した内容について、「思ったこと」の視点で、ノートに振り返りを書くよう促す。</p> |

指導と評価の計画（全11時間）

| | | | |
|-------|--|--|---|
| 単元 | くらべて はっけん！どうぶつの 赤ちゃん（『どうぶつの 赤ちゃん』） | | |
| 目標 | 事柄の順序に気を付けて読み取ったことを比べながら、書かれている内容を正確に理解することができる。 | | |
| 評価規準 | (①知識及び技能)程度を表す語句や違いに気を付けた読み方を知り、『どうぶつの 赤ちゃん』の理解に用いている。 (②思考力、判断力、表現力等)動物の赤ちゃんの生まれたときや成長の様子に順序に気を付けて、違いを比べながら文章を読んだり書いたりしている。 (③主体的に学習に取り組む態度)動物の赤ちゃんの生まれたときや成長の様子に関心をもち、文章を読んだり書いたりしようとしている。 | | |
| 過程 | 時間 | 学習活動 | 指導上の留意点 |
| つかむ | 1 | ○ライオンやしまうまについて知っていることや『どうぶつの赤ちゃん』についての初発の感想を聞き合う。 | ○動物の赤ちゃんへの関心を高められるよう、「初めて知ったこと」「驚いたこと」という観点を提示する。 |
| | 1 | ○これまでの説明的な文章で学習したことを振り返り、学習課題を立て、学習の見通しをもつ。 学習課題の例「ライオンとしまうまの赤ちゃんを比べて読んで、他の動物の赤ちゃん図鑑を書こう」 | ○動物の赤ちゃんについて、「生まれたときの様子」、「成長の様子」という順序で説明されていることに気付く手掛かりを得られるよう、問いの文を色分けする本文シートを用意する。 |
| ふかめる | 2 | ○ライオンとしまうまの赤ちゃんについて、「生まれたときの様子」と「成長の様子」を読み取る。 | ○程度を表す語句に着目しながらライオンの赤ちゃんについて読み取れるよう、「ぐらい」を使った文とそうでない文を提示する。 |
| | 1 | ○ライオンとしまうまの赤ちゃんについて読み取った内容を比べ、考えたことを聞き合う。(本時) | ○ライオンとしまうまの赤ちゃんの見た目や成長の様子の違いに気付けるよう、段落カードを並べて比べられる学習プリントを用意する。 |
| | 1 | ○カンガルーの赤ちゃんについて、「生まれたときの様子」と「成長の様子」を読み取る。 | ○カンガルーの赤ちゃんの生まれたときや成長の様子を順序に気を付けて捉えられるよう、「生まれたときの様子」、「大きくなる様子」の視点を提示する。 |
| | 1 | ○カンガルーの赤ちゃんについて読み取った内容を、ライオンやしまうまの赤ちゃんの様子と比べ、考えたことを聞き合う。 | ○他の動物の赤ちゃんについて調べる意欲を高められるよう、他の動物の赤ちゃん図鑑のモデルを再提示する。 |
| | 3 | ○他の動物の赤ちゃんについて調べて、「生まれたときの様子」と「成長の様子」の順序で文章を書く。 ・動物に関する本を読み、自分の書きたい動物を選ぶ。 ・選んだ動物について、本に書かれている生まれたばかりのときの様子と、大きくなっていく様子を調べる。 ・調べた内容を図鑑用の学習プリントにまとめる。 | ○他の動物の赤ちゃんについて、「生まれたときの様子」と「成長の様子」という順序で書けるよう、調べたことを整理する視点を示した学習プリントを用意する。 |
| ふりかえる | 1 | ○完成した図鑑を読み合い、学習の振り返りをする。 | ○いろいろな動物の違いを比べて読むことの楽しさを実感できるよう、「生まれたときの様子」、「大きくなる様子」の視点を提示する。 |
| | | | ◇文章の内容に触れながら、初めて知ったことや驚いたことを記述している。 <ノート③> ◇「生まれたときの様子」を問う文と「成長の様子」を問う文とを、それぞれ色分けしながら傍線を引いている。 <本文シート③> ◇「ぐらい」に着目しながら、ライオンの赤ちゃんの様子について発言したり、記述したりしている。 <発言・本文シート①> ◇「生まれたときの様子」、「成長の様子」という順序で段落カードを並べ、様子の違いについての感想を発言している。 <学習プリント・発言②> ◇カンガルーの赤ちゃんの「生まれたときの様子」や「成長の様子」について発言したり、記述したりしている。 <発言・本文シート②> ◇図鑑のモデルにカンガルーの赤ちゃんについて読み取った内容を書き加えたり、他のページに書き加えたい動物について発言したりしている。 <図鑑・発言③> ◇他の動物の赤ちゃんについて、「生まれたときの様子」と「成長の様子」を分けて調べたことを記述している。 <学習プリント②> ◇違いに着目しながら、友達の書いた図鑑のよさを記述している。 <ノート②> |